

トゥク・サク・コーラから渡渉や峠越えが続く

フォクスンド・コーラを上り、トゥク・サク・コーラの狭い谷に入る。ここからは渡渉を繰り返すことになる。谷の途中には雪渓が残り、また荷を担いだカッチャルには通行が難しい場所もあり、荷を降ろしてスタッフが荷を担ぐことになる。



トゥク・サク・コーラの雪渓を登る

谷を詰め、ナンダ・ラ 5360m の手前のハイキャンプで宿泊。ナンダ・ラの辺りは冬虫夏草(ネパール語でヤーサグンバ)がよく採れるようで、ヤーサグンバ採りを終えて、カッチャルや徒歩で帰る人たちに沢山出会った。このシーズンは冬虫夏草採取の真っ盛り。ドルポはネパールでの冬虫夏草の一大産地である。採集された冬虫夏草は中国に輸出され高価な漢方薬となる。地元民にとっては大きな収入源である。

6月30日はナンダ・ラ越え。霧雨の中で視界が悪く、またヤーサグンバ採りのトレースが錯綜し、このエリアは初めてのガイドはルートの間違えたが、ルートを知るの馬方たちのおかげで峠に導かれた。峠の北側には残雪が多くまた急な下りである。川沿いに長く下るとシェイ・スモド・グンバが見えてきた。シェイガオンに至る道は慧海とは異なるが、慧海もほぼ同じ6月27日に着いている。



キッチンボーイが採ってきた冬虫夏草

翌7月1日は結果的に今回の旅の唯一の休養日となった。日程の都合やミスで後の休養日は全てキャンセルしたからである。スモド・グンバを見学した後、一人で峨峨たる岩山の奥にある二つのグンバを目指したが、かなりきつそうで途中でやめた。水晶山の霊場の巡回には慧海も疲労困憊したと「旅行記」にある。シェイガオンにはテントや石造りの家もあり、子供たちも多く人懐こい。シェイガオンからは、5010mのセラ峠を越えて